

SUPER-FJ Race report



2020 OKAYAMA チャレンジカップレース S-FJ 岡山シリーズ 第1戦 2020年 2月23日 天候:晴れ 参加 5 台



2020年の開幕戦となるOKAYAMAチャレンジカップレースが晴天に恵まれた2月23日に開催された。このチャレンジカップからは、昨年度のチャンピオン入山翔選手とランキング2位の菊池宥孝選手が卒業(入山選手はスーパーフォーミュラ・ライツにステップアップ!)を果たし、新たな覇権争いが注目されることとなった。

《予選》

9時27分から15分間の予選が始まった。コンディションに恵まれた予選となり、昨年ランキング3位の貫戸幸星選手が、計測ラップが始まると1分43秒台を叩き出し、そのまま、毎周着実にタイムを伸ばして行き、5周目には1分39秒710という好タイムをマークする。

しばらくの間、2番手には鶴岡秀磨選手がつけていたが、中盤になって、鹿谷遼平選手が2番手に浮上してきた。各車ラストアタックとなるが、1分40秒429をマークした妹尾俊郎選手が鹿谷選手を上回って2位に、3位は鹿谷選手、そして4位には鈴鹿から遠征してきた太田浩選手が入った。

一方、序盤で2番手タイムを出していた鶴岡選手はエンジントラブルに見舞われ、途中でピットイン。また、その時ピットロード速度違反があり、セカンドベストタイムまでが抹消となり最後尾に沈んだ。

ポールポジション【貫戸幸星選手】

初ポールは獲れたのですが、速い子(鶴岡選手)がトラブルでアタックできていないので、また、タイム的にも自分としては今イチだったので、決勝も分かりません。

まあ、おじさんふたりで(妹尾選手と)なんとかレースを盛り上げたいですね。



《決勝レース》

上空には青空が広がり、開幕戦に相応しい決勝レースとなった。

注目のスタートを誰よりも決めたのは2番手スタートの妹尾選手で、1コーナーを先頭で飛び込んで行った。

オープニングラップは妹尾選手、貫戸選手、太田選手、鹿谷選手、鶴岡選手の順で、完全に縦一列。5台が2秒にも満たない間隔で並んで戻ってくる。

しかし、2周目のバックストレートで貫戸選手がトップに立つと状況は一変する。2番手争いが激しさを増したこともあり、貫戸選手は一気に差を広げはじめた。

最後尾スタートの鶴岡選手は3周目には2番手まで順位を上げている。また、6周目には鹿谷選手が3番手に上がるという目まぐるしい展開を見せる。その後4台は僅差のまま。

2位に上がった鶴岡選手は、先頭を走る貫戸選手に近づきたくハイペースで飛ばすが、7周目のアトウッドコーナーで突然失速してしまう。一気に順位を落とした後、ピットに戻ってリタイヤを喫することになる。予選同様、エンジントラブルが原因だった。

終盤になると鹿谷選手は単独走行となる。2番手は鹿谷選手、そして、妹尾選手と太田選手の3番手争いは最後まで続いたが、辛くも妹尾選手が逃げ切りを果たすことに。「スタートが良かったんですけど、そのまま逃げきれなかったのが、ちゃんと練習して、次は逃げ切れるよう頑張ります。バトル自体は、若い人もいたのにすごくクリーンで、またこういうレースを次もしたいですね」と妹尾選手。

一方、トップの貫戸選手は最後まで危なげない走りを見せ、悲願の初優勝を飾った。そして、2位でゴールした鹿谷選手は再車検で最低重量違反が見つかり、失格になってしまう。これにより、繰り上がって妹尾選手が2位、太田選手が3位を獲得した。

ウィナー 貫戸幸星選手 (LAPS 萬願亭 KRS・KKS2)

「スーパーFJは2年半ぐらい、その前にはFJ1600をやっていて、初めて優勝することができました。まあ今年は速い子たちがF4に行ったんで……。だけど一緒にバトルした仲間が、潰し合わずにマナー良くバトルしてくれたので、実に楽しめました。秀磨くんはどうしました？ ああ、リタイヤしたんですか、彼がちゃんと走れば、すぐ抜かれます(笑)。でも、優勝ってというのは、いいものですね」





CHALLENGE CUP RACE 2020 OKAYAMA International Circuit

2020 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第1戦 JAF地方選手権 S-FJ岡山シリーズ 第1戦 予選 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダグループ (AC) スタート時間：9:27:00
2020.02.23 天候：晴れ コース状況：ドライ チェッカー時間：9:42:32
岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	タイム	Km/h	周回	トップ差
1	6	貴戸 幸星	KK-S II	LAPS萬願亭KRS-KKS2	1'39.710	133.696	6/9	
2	81	妹尾 俊郎	RD10V	SSEC☆KRS☆10V	1'40.429	132.739	9/9	0.719
3	2	鹿谷 遼平	KK-S II	KRS KKS-2	1'40.580	132.539	7/9	0.870
4	21	太田 浩	KK-S II	ミス・セキグチ・制動屋	1'40.683	132.404	7/9	0.973
5	●▲19	鶴岡 秀磨	KK-S II	KRSセインカイレシグ	1'41.326	131.563	4/7	1.616

----- 以上予選通過 -----

予選通過基準タイム (130%) 2'10.312

●セッケンNo.19は、2020 岡山国際サーキット4輪レース 一般競技規則 第4章 第18条2.③ (イロライカット)違反により、罰戒とした。(9:58)

▲セッケンNo.19は、2020 岡山国際サーキット4輪レース 一般競技規則 第5章 第41条1. (ピットレーン速度違反(2回))により、ベストラップタイム及びベストラップタイムを抹消とした。(9:58)

参加台数：5台 出走台数：5台

2020 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第1戦 JAF地方選手権 S-FJ岡山シリーズ 第1戦 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット/アイダグループ (AC) スタート時間：13:03:04
2020.02.23 天候：晴れ コース状況：ドライ チェッカー時間：13:23:20
岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	6	貴戸 幸星	KK-S II	LAPS萬願亭KRS-KKS2	12	20'16.208	131.531		1'40.184	4
2	81	妹尾 俊郎	RD10V	SSEC☆KRS☆10V	12	20'26.900	130.385	10.692	1'40.790	9
3	21	太田 浩	KK-S II	ミス・セキグチ・制動屋	12	20'27.578	130.313	11.370	1'40.839	4
				----- 以上完走 -----						
	19	鶴岡 秀磨	KK-S II	KRSセインカイレシグ	8	13'47.037	128.950	4 Laps	1'40.943	4
	●	2	鹿谷 遼平	KK-S II	KRS KKS-2					失格

●セッケンNo.2は、2020 JAF 国内競技車両規則 第10章 第3条 3.1) (最低重量)違反により失格とした。(14:18)

参加台数：5台 出走台数：5台

ベストラップ： 6 貴戸 幸星 1'40.184 4/12 133.063km/h

